

令和2年7月28日

宣言 新型コロナウイルスに負けない健幸都市

発起人代表 大阪府高石市長 阪口伸六
発起人 新潟県見附市長 久住時男
福岡県飯塚市長 片峯 誠
奈良県田原本町長 森 章浩
鳥取県湯梨浜町長 宮脇正道

我がまちは、with コロナにおいても正しく恐れた上で、子どもから高齢者の全世代において、社会参加や健康づくりを新しい生活様式を守りながら積極的に行い、人も地域も経済も元気な健幸都市を目指します。そのために、新型コロナウイルスに負けない免疫力を高めるために、安心・安全に外出できる環境整備を進めるとともに、住民のみなさんの「正しく恐れる」ための理解促進を行います。

新しい生活様式における地域活動の方針

- 1) with コロナを見据えて、今後における事業実施の基本はハイブリッド型（オンラインとオンライン）を目指します。さらに、全力で健康づくり、コミュニティ事業及びまちづくり事業を遅滞させない工夫を凝らし、従来通り円滑に実施することで、住民の生きがい活動や健康づくりを守ります。
- 2) 正しい感染予防・健康情報を積極的に発信し、外出自粛による住民の運動不足やとくに高齢者における社会参加の減少を防ぎ、健康二次被害（基礎疾患、メンタルヘルスの悪化、認知機能の低下）を予防します。
- 3) 市町内の感染予防対策を遵守している施設や店舗と連携し、文化活動や経済活動の停滞を防ぐ具体策を進めていきます。
- 4) 外出自粛の影響が際立つ高齢者の運動や会話の不足、孤食状態の解消に向けた取り組みを積極的に行い、認知症の発症や悪化を防ぎます。
- 5) 「新型コロナウイルスに負けない健幸都市宣言」した自治体と定期的にオンライン会議を行い、各自治体の施策の紹介、効果や課題などを共有し、良い施策はすぐに取り入れていきます。

今後、Smart Wellness City 首長研究会（106自治体）等に参加を呼びかけ、連携自治体を増やします。